

令和2年度

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書



滝川市いじめ根絶シンボルマーク最優秀作品

令和3年8月

滝川市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、その報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。また、その際、客観性を確保する観点から、教育委員会以外の学識経験者による知見の活用を図ることとされています。

滝川市教育委員会は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、学識経験者、保護者、関係団体から成る「滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議」からご意見等をいただきながら、「滝川市教育推進計画」及び「令和２年度教育行政執行方針」をはじめ、令和２年度において教育部の重点事業として実施した５事業に係る事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、報告書を作成いたしました。

この点検・評価報告書を通じて施策の効果の検証と改善を図りながら、教育施策を着実に推進していきたいと考えていますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和３年８月

滝川市教育委員会

目 次

1 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の会議の開催状況	1
(2) 条例・規則の制定状況	4

2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

(1) 点検・評価の方法について	5
(2) 点検・評価の流れについて	5
(3) 点検・評価対象事業について	5
令和2年度点検・評価対象事業一覧	6
(4) 点検・評価に関する報告書	
IV-(9)-③ コミュニティ・スクール(学校運営協議会)	7
学校給食調理業務等委託事業	9
V-(12)-③ オリンピック・パラリンピック連携推進事業	11
V-(13)-③ 地域資料の保存・研究	13
V-(14)-① 生涯学習と地域の情報拠点としての図書館の充実	15

1 教育委員会の活動状況について

(1) 教育委員会の会議の開催状況

滝川市教育委員会会議は原則として公開で、毎月1回を基本として開催するほか、必要に応じて臨時会議を開催しています。また、滝川市教育委員会が所管する事項について調査及び研究を行うことで様々な教育課題に対する活発な議論を行うため、滝川市教育委員協議会を設置しています。

ア 教育委員会会議（14回開催）

R 2. 4. 23	報 告	①教育部補正予算について
R 2. 4. 28	報 告	①3月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申等について
	議 案	議案第1号 滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 議案第2号 滝川市立学校職員服務規程の一部を改正する規程 議案第3号 滝川市教育支援委員会議委員の選出について 議案第4号 滝川市社会教育委員の委嘱について
	その他	①各所管の年間業務計画について ②運動会の日程について
R 2. 5. 14	議 案	議案第1号 特別職の職員の給与に関する条例及び教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例
R 2. 5. 19	報 告	①4月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②一般財団法人滝川生涯学習振興会の経営状況について
	議 案	議案第1号 滝川市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 議案第2号 滝川市いじめ防止専門委員会委員の委嘱について 議案第3号 江陵中学校区学校運営協議会委員の任命について 議案第4号 明苑中学校区学校運営協議会委員の任命について 議案第5号 江部乙中学校区学校運営協議会委員の任命について
R 2. 6. 26	報 告	①5月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②社会教育施設の利用状況について
	議 案	議案第1号 滝川市教育委員会事務委任規則の一部を改正する規則 議案第2号 滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則 議案第3号 滝川市立学校の児童及び生徒の災害共済給付に係る共済掛金の徴収に関する規則の一部を改正する規則
R 2. 7. 22	報 告	①6月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について
	議 案	議案第1号 滝川市教育委員会事務局職員の職名に関する規則の一部を改正する規則 議案第2号 滝川市教育委員会事務局職員被服規則の一部を改正する規則

		議案第3号 滝川市立学校勤務市費負担職員服務規程を廃止する規程 議案第4号 令和2年度教育予算8月補正について
	その他	①外国語指導助手の退任及び採用について
R 2. 8. 18	報 告	①7月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②市費負担教職員人事の内申について ③公立高等学校配置計画案について
	議 案	報告第1号 臨時代理について（職員の懲戒処分について） 議案第1号 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について 議案第2号 第2期滝川市小・中学校適正配置計画（素案）について 議案第3号 滝川市教育委員会における指定管理施設管理運営安定化支援金交付規則 議案第4号 令和3年度に使用する小学校用教科用図書の採択について 議案第5号 令和3年度に使用する中学校用教科用図書の採択について 議案第6号 学校教育法附則第9条による令和3年度から特別支援学級で使用する教科用図書の採択について 議案第7号 令和3年度に使用する高等学校用教科用図書の採択について 議案第8号 令和2年度教育予算9月補正について
R 2 9. 29	報 告	①8月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②いじめ問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察 ③道費負担教職員人事の内申について
	議 案	報告第1号 臨時代理について（財産の取得について）
	その他	①教育委員学校訪問について
R 2 10. 23	報 告	①9月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申等について
	議 案	議案第1号 滝川市学校運営協議会規則の一部を改正する規則 議案第2号 学校職員の分限処分に係る内申について
R 2. 11. 20	報 告	①10月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について
	議 案	議案第1号 令和2年度教育予算12月補正について
R 2. 12. 21	報 告	①11月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察 ③道費負担教職員人事の内申等について
	その他	①外国語指導助手の採用について
R 3. 1. 26	報 告	①12月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について ③令和5年以降の滝川市成人式について

	議 案	議案第 1 号 第 2 期滝川市小・中学校適正配置計画（案）について
R 3. 2. 16	報 告	① 1 月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について ③出願状況について
	議 案	議案第 1 号 令和 3 年度教育行政執行方針について 議案第 2 号 令和 3 年度教育予算について 議案第 3 号 学校職員の専従許可の有効期間の更新に係る内申について 議案第 4 号 令和 2 年度教育予算 3 月補正について
	その他	①卒業式について
R 3. 3. 24	報 告	① 2 月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②道費負担教職員人事の内申について ③教育支援委員会議の概要について ④令和 2 年度卒業式における国旗・国歌の実施状況について ⑤滝川市立学校における教職員のハラスメント防止等に関する指針について ⑥専決処分について ⑦令和 2 年度卒業生進路決定状況について
	議 案	議案第 1 号 滝川市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則 議案第 2 号 滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 議案第 3 号 滝川市教育委員会事務局事務決裁規程の一部を改正する規程 議案第 4 号 滝川市教育委員会公印規則の一部を改正する規則 議案第 5 号 道費負担教職員の任免に係る内申について 議案第 6 号 滝川市立学校職員及び滝川市教育委員会事務局職員の任免について
	その他	①入学式について ②辞令交付式について

イ 教育委員協議会（3 回開催）

開催日	調 査 及 び 研 究 内 容
R 2. 7. 22	・ 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価について ・ 第 2 期 滝川市小・中学校適正配置計画（案）について
R 3. 1. 26	・ 令和 3 年度予算要求の概要について
R 3. 2. 16	・ 令和 3 年度教育行政執行方針について

(2) 条例・規則の制定状況

令和2年度に制定又は改正された教育関係条例の数は3件、教育委員会規則の数は15件です。
(施行年月日がR2.4.1～R3.3.31のもの)

ア 教育関係条例

題 名	施行年月日
滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例の一部を改正する条例	R2.4.1
滝川市奨学金貸付条例を廃止する条例	R2.4.1
特別職の職員の給与に関する条例及び教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例	R2.5.19

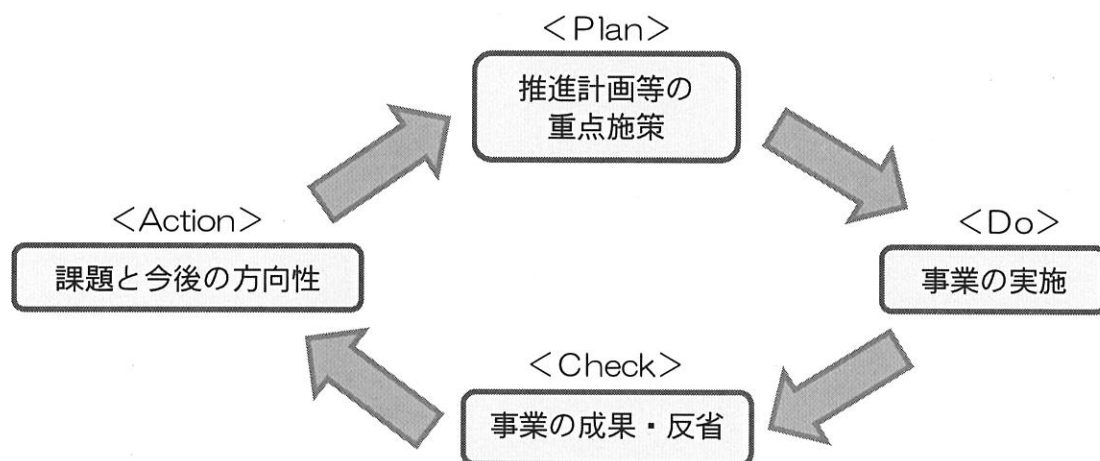
イ 教育委員会規則

題 名	施行年月日
滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例施行規則の一部を改正する規則	R2.4.1
滝川市奨学金貸付条例施行規則を廃止する規則	R2.4.1
教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則	R2.4.1
滝川市学校週5日制対策地域活動指導者設置規則を廃止する規則	R2.4.1
滝川市生涯学習アドバイザー設置に関する規則を廃止する規則	R2.4.1
滝川市教育委員会事務委任規則の一部を改正する規則	R2.6.26
滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則	R2.6.26
滝川市立学校の児童及び生徒の災害共済給付に係る共済掛金の徴収に関する規則の一部を改正する規則	R2.6.26
滝川市教育委員会事務局職員の職名に関する規則の一部を改正する規則	R2.8.1
滝川市教育委員会事務局職員被服規則の一部を改正する規則	R2.8.1
滝川市教育委員会における指定管理施設管理運営安定化支援金交付規則	R2.8.18
滝川市学校運営協議会規則の一部を改正する規則	R2.10.23
滝川市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を改正する規則	R3.3.24
滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	R3.3.24
滝川市教育委員会公印規則の一部を改正する規則	R3.3.24

2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

(1) 点検・評価の方法について

点検・結果のフィードバックについては、P.D.C.Aサイクルに基づき、令和2年度重点事業における目標と成果の確認を適切に実施し、来年度に向けた課題とその解決に向けての方向性を決定します。



(2) 点検・評価の流れについて

ア 点検・評価シートの作成

教育委員会所管課において、点検・評価シートを作成し、実施事業に対する評価・反省を行います。

イ 外部評価の実施

外部評価会議を開催し、点検・評価シートに基づくヒアリング（目標、実施状況、評価・反省点、今後の課題・取組の方向性）を実施し、各取組に対する評価・意見をいただきます。

ウ 点検・評価の報告書作成

外部評価の決定後に点検・評価報告書案として、直近の教育委員会会議に付議し、承認を受けたのち、市議会の所管常任委員会（総務文教常任委員会）に報告書を提出します。

報告後、市のホームページに掲載し、報告書を公表します。

(3) 点検・評価対象事業について

平成24年度から「滝川市教育推進計画」に基づき点検・評価を行っており、令和3年度は、「滝川市教育推進計画」及び「令和2年度滝川市教育行政執行方針」をはじめ、令和2年度において教育部の重点事業として実施した5事業について点検・評価を実施しました。

※次頁の「令和2年度点検・評価対象事業一覧」参照

「令和２年度点検・評価対象事業一覧」

1	推進計画の重点施策	Ⅳ 学校・家庭・地域の絆を深め、家庭や地域の教育力を生かす	教育総務課
	推進計画の事業名	(9) 子どもたちの健全育成の推進	
	重点事業名	③地域と学校との連携による教育活動の支援	
	令和２年度事業名等	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）	
2	推進計画の重点施策	滝川市教育推進計画未掲載事業 令和２年度教育行政執行方針に基づいた重点施策	学校運営課
	推進計画の事業名		
	重点事業名		
	令和２年度事業名等	学校給食調理業務等委託事業	
3	推進計画の重点施策	Ⅴ 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	オリンピック・ パラリンピック 連携推進室
	推進計画の事業名	(12) スポーツに親しめる環境の整備	
	重点事業名	③スポーツにおけるノーマライゼーションの推進	
	令和２年度事業名等	オリンピック・パラリンピック連携推進事業	
4	推進計画の重点施策	Ⅴ 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	美術自然史館
	推進計画の事業名	(13) 地域文化活動の振興	
	重点事業名	③地域資料の保存・研究	
	令和２年度事業名等	特別展の開催	
5	推進計画の重点施策	Ⅴ 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	図書館
	推進計画の事業名	(14)図書館活動の充実	
	重点事業名	①生涯学習と地域の情報拠点としての図書館の充実	
	令和２年度事業名等	関係機関・団体との連携事業	

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和2年度	所管課名	教育総務課
推進計画の重点施策	Ⅳ 学校・家庭・地域の絆を深め、家庭や地域の教育力を生かす		
推進計画の事業名	(9) 子どもたちの健全育成の推進		
重点事業名	③地域と学校との連携による教育活動の支援		
令和2年度事業名等	コミュニティ・スクール（学校運営協議会）		

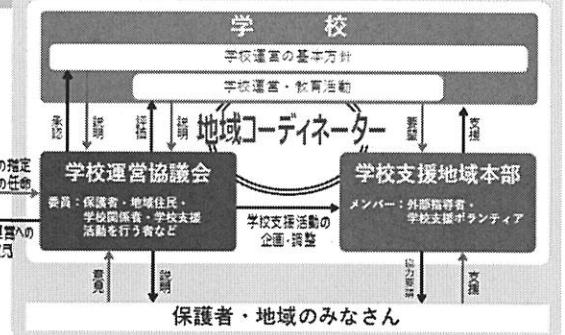
目的・概要	・滝川市教育推進計画の基本理念である「未来を拓く『たきかわっ子』の育成」を目指すため、保護者・地域住民等が学校運営に参画することにより、目標やビジョンを共有し、一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校づくり」を進める。 ・学校と地域が連携・協働し、双方向に「学び」「考え」「助け合う」体制を構築し、地域を活性化し、特色ある質の高い教育活動を推進する。
-------	---

① 達成目標 (Plan)	・地域コーディネーター2名を活用し、学校のニーズを踏まえ、地域資源や地域人材による教育活動への支援充実に努めるとともに、特色ある教育活動を推進する。
② 実施状況 (Do)	・学校のニーズにより、他の中学校区の活動の様子を知るため市内四中学校区学校運営協議会会長・事務局長連絡会を開催し、新たな取組として地域を巻き込んで実施した明苑中学校区一斉朝の挨拶見守り指導「おはよう滝川」の紹介や情報交換等を行った。 ・地域コーディネーターが、道内関係者参加の協議会で滝川市の取組を紹介するとともに、他地域の取組を学んだ。 ・学校からの要請に応じ、地域コーディネーターが、地域の方々による学習支援や体験活動を行った。（延93回実施、延216名の協力） ・取組の周知として、CS通信（全26回発行）を市公式ホームページの掲載のほか、町内会へ配布した。
③ 評価・反省点 (Check)	・新たな取組として実施した市内四中学校区学校運営協議会会長・事務局長連絡会の開催は、重要な意見交換の場となり、各中学校区の取組の参考になったと考える。 ・「おはよう滝川」の取組は、新型コロナウイルス感染症が拡大する環境の中で、できる取組を検討した結果実施し、交通安全の啓発や地域の挨拶の輪の拡大に繋がった。 ・地域コーディネーターが登壇した「地域と学校の連携推進協議会」は、滝川市の取組を全道にPRでき、他地域との情報交換ネットワークの構築に繋がった。 ・町内会から広報活動についてのご意見をいただき、取組の周知が図られていることが実感できた。ご意見を参考に、CS通信の紙面構成や発行体制の見直しを行った。
④ 今後の課題・ 取組の方向性 (Action)	・事業の発展に向け、学校のニーズが高い活動を中心に、地域コーディネーターによる更なる地域資源・人材の発掘を図る。 ・コロナ禍でも実施可能な事業を検討する。 ・CS通信を町内会の班回覧に折り込むなど、事業広報の拡大を図り、地域の方々や企業との連携を深める。

外部評価会議委員からの評価・意見	
・事業内容の周知が不十分ではないか。活動の方向性を明確にし周知方法を工夫する必要があるのではないか。 ・他の組織で同じような活動を実施している場合があり、各種団体等と連携して滝川版コミュニティ・スクールを進めて欲しい。 ・要となる学校が上手く運営していくことで、他業種のコミュニティにも影響していくと思うのでしっかり行って欲しい。	

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)

滝川版コミュニティ・スクール



Plan

- 「地域とともにある学校づくり」
- 学校と地域が連携・協働し、双方向に「学び」「考え」「助け合う」体制を構築し、地域を活性化し、特色ある質の高い教育活動を推進
- 地域コーディネーター2名を活用し、学校のニーズと地域の資源・人材をマッチングすることで、教育活動への支援の充実と特色ある教育活動を推進

【達成目標】

Do

【実施状況】

コロナ禍において実施可能な事業が限定的となった



■市内四中学校区学校運営協議会 会長・事務局長連絡会

- ・他の中学校区の活動の情報交換
- ・・・明苑中学校区一斉挨拶見守り指導「おはよう滝川」などを紹介



■令和2年度 地域と学校の連携推進協議会(北海道)

- ・地域コーディネーターが滝川市の取組を紹介するとともに意見交換
- ・・・他地域の取組を市内の協議会へ情報提供

■地域の方々による学習支援・体験活動の実施

- ・学校の要請に応じ、延べ93回延べ216名の参加
- ・・・地域コーディネーターによる学校のニーズと地域人材のマッチング
- ・・・農業体験・スキー学習指導支援・部活動指導支援など



■CS通信の発行(事業広報 全26回) ・ホームページ掲載と町内会への配布

Check

【評価・反省点】

- 学校運営協議会会長・事務局長連絡会の実施は、各中学校区の取組の参考となった。
- 「おはよう滝川」事業は、コロナ禍で可能な事業の一つのモデルとなったとともに、交通安全の啓発や地域の挨拶の輪の拡大に繋がった。
- 地域コーディネーターが登壇した「地域と学校の連携推進協議会」は、滝川市の取組を全道にPRできたとともに、他地域との情報交換ネットワークの構築に繋がった。
- 取組意欲のある町内会から、広報活動に関するご意見をいただくなど、着実に取組の周知が図られていることを実感できた。

Action

【今後の課題 取組の方向性】

- ①事業の発展に向け、学校のニーズが高い活動を中心に、地域コーディネーターによる更なる地域資源・人材の発掘を図る。
- ②コロナ禍でも実施可能な事業を検討する。
- ③CS通信を町内会の班回覧に折り込むなど、事業広報の拡大を図り、地域の方々や企業との連携を深める。

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和2年度	所管課名	学校運営課
推進計画の重点施策	滝川市教育推進計画未掲載事業 令和2年度教育行政執行方針に基づいた重点施策		
推進計画の事業名			
重点事業名			
令和2年度事業名等			
目的・概要	市内6か所の調理場における調理業務などを民間企業へ委託することで、給食調理を専門とする民間企業が有する人材育成、調理及び衛生管理に関するノウハウを活用するとともに、慢性的な人材不足を解消し、安定的な給食提供を図ることを目的とする。		
① 達成目標 (Plan)	・慢性的な人材不足の解消と安定的な給食提供を実現するため、令和2年度は委託事業者の選定、市費学校給食従事職員への説明及び雇用継続の調整、市民周知、委託業務の開始を達成目標とした。 ・前年度に行った学校給食調理民営化の調査研究で検討した利点・欠点について、委託後どのような状況となったかを分析し、今後の取組に繋げる。		
② 実施状況 (Do)	・学校給食に最も重要な安全性の確保と衛生管理の徹底が実現できると判断した事業者と令和2年5月8日に業務委託契約を締結した。 ・5月中に委託業者から給食従事職員へ委託に伴う業務内容・雇用調整等について説明会・個人面談を実施した。 ・周知は、広報たきかわ掲載、児童生徒の保護者あて文書の配付により行った。 ・8月1日より民間事業者による運営を開始した。		
③ 評価・反省点 (Check)	・委託業者の選定、市費学校給食従事職員への説明及び雇用継続の調整、市民周知、委託業務の開始について目標通り実施した。 ・利点として期待した欠員補充体制の構築や労務管理の一元化については、これまで急な退職等の補充で苦慮していたが改善した。		
④ 今後の課題・ 取組の方向性 (Action)	・学校給食法等の各種基準を遵守しているかの確認、障害発生時の対応等、委託業者と随時必要な改善を行い、教育委員会事務局職員や栄養教諭による定期的な巡回指導を行う。		

外部評価会議委員からの評価・意見
・献立、感染症・食中毒、給食費未納問題等、市内学校間で対応のばらつきがないようしっかり管理して欲しい。 ・委託前にメリット・デメリットを検証したと思うが、委託により大きな問題は発生していないということなら良い。

学校給食調理業務等委託事業

Plan

【達成目標】

- 慢性的な人材不足を解消
- 安定的な給食提供を実現できる事業者の選定
- 人材育成能力
- 調理・衛生管理のノウハウ

Do

【実施状況】

■募集要項・仕様書の作成

栄養教諭・調理主任・教育委員会の3者による作成

令和2年4月10日：応募資格審査に4社の応募

■公募型プロポーザル方式による事業者選定

滝川市学校給食調理業務等企画提案審査市民会議

令和2年4月22日：最終選考に残った3社より選定

令和2年5月8日：一富士フードサービス株式会社
北海道・東北支社と業務委託契約を締結

■調理従事職員への説明会・個人面談の実施

業務内容・雇用調整等の説明、採用面談

■児童生徒の保護者、市民向け周知

広報たきかわ・通知文書配付にて実施

令和2年8月1日 民間事業者による運営開始

Check

【評価・反省点】

- ①委託業者の選定
- ②市費学校給食従事職員への説明・雇用継続の調整
- ③市民周知
- ④委託業務開始

目標通り実施

欠員補充体制の構築・労務管理の一元化について改善できた

Action

【今後の課題
取組の方向性】

- ①各種基準等の確認
- ②障害発生時の対応
- ③教育委員会事務局職員・栄養教諭による定期的な巡回指導の実施

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和2年度	所管課名	オリンピック・パラリンピック連携推進室
推進計画の重点施策	V 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える		
推進計画の事業名	(12) スポーツに親しめる環境の整備		
重点事業名	③スポーツにおけるノーマライゼーションの推進		
令和2年度事業名等	オリンピック・パラリンピック連携推進事業		

目的・概要	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に参加するアルゼンチンパラカヌーチームの滝川合宿を行うことで、大会の成功に向けて支援するとともに、合宿に参加するパラリンピック選手との交流を通して、共生社会の実現、心のバリアフリー活動の推進を図る。
① 達成目標 (Plan)	・パラリンピック大会に向けた事前合宿を行う。 ・来滝する選手と、滝川市民との交流事業を実施する。 ・市内小学校において、アダプテッドスポーツ授業を実施する。 以上を通して、共生社会に対する市民の意識醸成を図るとともに、大会の側方支援を行う。
② 実施状況 (Do)	・パラリンピック大会の1年延期を受け、リモートでの交流事業を実施した。 ① 12月 代表選手と市内小学校児童との交流を中心とした事業の実施 ② 2月 市内飲食店の協力による食文化交流、児童との交流事業の実施 ③ 3月 北海道スポーツ応援ネットワーク（事務局 北海道新聞社）と連携し、代表選手との、Youtube 番組作成を通じた交流実施 ・市内小学校においてアダプテッドスポーツ授業を実施した。
③ 評価・反省点 (Check)	・コロナ禍において実施可能な交流事業に組み直し、ホストタウン事業を展開したが、より時間的余裕ができたことで、アルゼンチン側との親密度の向上につながった。 ・リモート環境での交流事業につき、限られた市民との交流に限定されたことは反省点である。
④ 今後の課題・ 取組の方向性 (Action)	・2021年に実施予定であった事前合宿の中止により、予定していた交流事業についても変更を行う。 ①代表選手への応援メッセージ動画の作成・送信 ②大会後の交流について検討する。

外部評価会議委員からの評価・意見	
・スポーツにおけるノーマライゼーションがあまり進んでいない日本社会で、子どもたちに体験させ優しさを芽生えさせる良い機会になったと思う。今後も継続して体験させる活動を行って欲しい。 ・コロナ禍の影響もあると思うが、もっと多くの人が参加できるものを行って欲しかった。 ・コロナが落ち着いたら、大会終了後も、本来行う予定だった交流事業等を行って欲しい。 ・今回整備された障がい者スポーツに関わる施設や指導者等の協力体制を生かし、今後障がい者スポーツを発展させて欲しい。	

オリンピック・パラリンピック連携推進事業

Plan

【達成目標】

- 共生社会に対する意識醸成・大会の側方支援
- パラリンピック大会に向けた事前合宿
- 来滝する選手と滝川市民との交流事業の実施
- 市内小学校におけるアダプテッド授業の実施

Do

【実施状況】

■代表選手と市内小学校児童との交流事業(12月18日 9:00~10:15)

- ・アルゼンチンパラカヌーチームと江部乙小学校(オリパラ教育推進校)16名によるリモート交流
- 【児童からの質問に対し、アルゼンチンパラカヌーチームからの回答】



【 江部乙小学校 】



【 滝川市役所庁舎 】

参加者

駐日アルゼンチン共和国特命全権大使
アルゼンチン共和国パラカヌー連盟会長
アルゼンチン共和国パラカヌー代表
アルゼンチン共和国パラカヌーコーチ
江部乙小学校5年生児童
滝川市長



【 交流時画面 】

■リモート交流事業 第1部「まってるよ!ルーカス選手!」(2月25日 9:30~10:18)

- ・事前合宿で使用する練習施設や宿泊施設などを中心に滝川市の紹介動画
- ・サプライズで、アルゼンチンパラカヌー代表選手と交友のある瀬立モニカ選手の出演
- ・料理交流

■リモート交流事業 第2部「おしえて!土田和歌子選手!」(2月25日 10:30~11:27)

- ・パラリンピアン土田選手と江部乙小学校のリモート交流
- ・講演会「今を受け入れ、今を超える」:パラリンピック競技の凄さや魅力、土田選手の体験談
- ・アテネパラリンピック時に獲得したメダルに触れる機会



【 メダル観察時 】

■関連事業 食文化交流「ピッツア・ルーカス」

- ・アルゼンチン大使館から提供を受けた「フガセッタ(ピザ)」のレシピを、「ラ・ペコラ」に協力いただき、アレンジを加えて、ご当地ピザを誕生させた。
- ・商品名「ピッツア・ルーカス」(アルゼンチンパラカヌー代表選手公認で名前を商品名に)
- ・江部乙小学校児童16名による試食会



【 江部乙小学校 】

■YouTube番組作成を通じた交流(3月23日 8:30~11:00)

- ・北海道スポーツ応援ネットワークと連携し、ルーカス選手へのインタビュー番組を作成
- ・滝川市との交流や思いも語っていただき、親交を深めた。

■アダプテッドスポーツ授業(10月31日 東小学校 1月21日 江部乙小学校)

- ・アダプテッドスポーツの実技体験
- (講師:北海道教育大学岩見沢校アダプテッドスポーツ研究室 准教授 大山裕太氏)



Check

【評価・反省点】

- コロナ禍で実施可能な事業に組み直し、ホストタウン事業を展開したが、より時間的余裕ができたことで、アルゼンチン側との親密度が向上
- リモート環境での交流事業のため、限られた市民との交流に限定された。

Action

【今後の課題 取組の方向性】

- 2021年度実施予定であった事前合宿の中止により、予定していた事業を変更
- ①代表選手への応援メッセージ動画の作成・送信
- ②大会後の交流について検討

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和2年度	所管課名	美術自然史館
推進計画の重点施策	V 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える		
推進計画の事業名	(13) 地域文化活動の振興		
重点事業名	③地域資料の保存・研究		
令和2年度事業名等	特別展の開催		

目的・概要	・タキカワカイギュウをはじめとする滝川市の歩みを記憶する歴史資料を後世に伝える。 ・施設の特徴や収蔵品を生かした、地域の博物館としての役割を担うための特別展を開催する。
-------	---

① 達成目標 (Plan)	・特別展「カイギュウの見た夢」の開催（会期：6/20-8/23） ・タキカワカイギュウ発見40年を記念する今回の特別展は、タキカワカイギュウにスポットを当てながら500万年前、滝川が海であったことも紹介する構成で、子どもたちが自らを取り巻く地域の自然環境の変化について学ぶことができる機会を提供する。 ※目標来場者数：3,000人
② 実施状況 (Do)	・タキカワカイギュウ化石の原標本を38年ぶりに全身で展示 ・滝川で発掘されたクジラ等様々な化石等も展示。また多くの市民が携わり発掘した空知川河床での当時の現場映像も上映しながら、郷土の歴史におけるタキカワカイギュウの重要性について実感していただく内容となる取組を行った。
③ 評価・反省点 (Check)	・北海道内の化石ブームの高まりもある中、原標本等の展示を通してタキカワカイギュウの発見により、市全体が盛り上がった当時の“熱気”を子どもたちに伝えることができた。またタキカワカイギュウが北海道の指定文化財であることを改めて知っていただく機会にもなり、その価値を広く発信することができた。（来場者数 5,097人）
④ 今後の課題・ 取組の方向性 (Action)	・タキカワカイギュウは北海道の指定文化財であり、滝川市の財産である。今後ともタキカワカイギュウはもちろん、美術部門の岩橋英遠をはじめとするふるさとの文化的財産を生かした特別展を新しい“切り口”を見い出しながら企画することで、その重要性を継続的に発信していくことが必要である。

外部評価会議委員からの評価・意見	
・取組は良いと思うが、市内各学校へPR用DVDを作成して配布する等事前のPR方法を工夫したほうが良いのではないか。 ・常設展示の部分にも工夫を加え相乗効果を狙ってはどうか。行動展示等美術自然史館に行ってみようかという展示の仕方を検討して欲しい。 ・より多くの市内の小学生に特別展を観てもらい、事業を知ってもらう計画を立ててはどうか。	

特別展の開催(美術自然史館)

Plan

【達成目標】

- 特別展「カイギュウの見た夢」の開催(6/20-8/23)
→タキカワカイギュウ発見40年
→市民の手によって発掘・研究・普及が行われた北海道初のケース
→化石として初めて北海道の文化財に指定



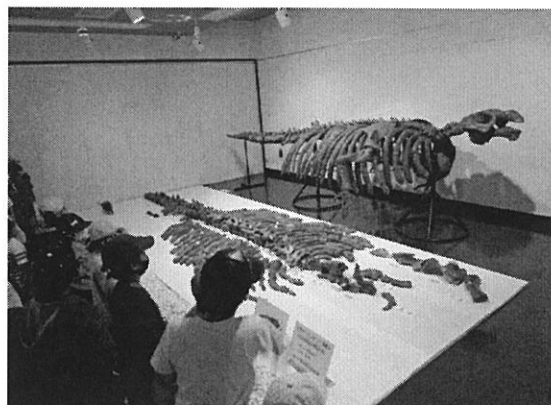
- 当時の“熱気”を振り返り500万年前は滝川が海であったこと子どもたちが学べる機会に
- 目標来場者数:3,000人

Do

【実施状況】

■タキカワカイギュウ化石原標本の全身展示

……1981年12月～82年3月以来38年ぶり2回目



■発掘時の空知川現場映像の上映

……多くの市民が参加している様子



■滝川で発掘された化石の展示

……クジラ、セイウチ、アシカ、オサガメ等



■パネル展示

……500万年前に滝川が海であったことを示す各種解説パネル



Check

【評価・反省点】

- 北海道内の化石ブームの高まりもある中、原標本等の展示を通してタキカワカイギュウの発見により、市全体が盛り上がった当時の“熱気”を子どもたちに伝えることができた。
- タキカワカイギュウが北海道の指定文化財であることを改めて周知することで、その価値を広く発信することができた。
- 来場者数:5,097人

Action

【今後の課題 取組の方向性】

- タキカワカイギュウや岩橋英遠をはじめとするふるさとの文化的財産を活かした特別展を「新しい切り口」を見出しながら企画することで、その重要性を継続的に発信していく。

滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価シート

対象年度	令和2年度	所管課名	図書館
推進計画の重点施策	V 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える		
推進計画の事業名	(14) 図書館活動の充実		
重点事業名	①生涯学習と地域の情報拠点としての図書館の充実		
令和2年度事業名等	関係機関・団体との連携事業		

目的・概要	・生涯学習及び地域の情報拠点として「くらしに役立つ図書館」を目指し、市民と情報を結ぶツールとして行政や関係団体等と連携し、展示や事業等を通じて情報発信を行う。 ・メディアを活用した本の紹介等を行い、市民の読書意欲の喚起を促す。
① 達成目標 (Plan)	・ホームページやSNS、メディアを活用し、時事に合わせた情報や読書案内を発信する。 ・行政や関係団体等と連携した展示・事業を展開する。
② 実施状況 (Do)	・コロナ禍の情報発信として、コロナ関連情報コーナーの設置、マスクのつくり方等を掲載したチラシを配布した。 ・飲食店応援情報や事業者応援給付金情報を、ホームページやFacebook、チラシ等を活用して発信した。 ・9月にホームページをリニューアルした。「雑誌ささえ隊」(58誌)や「まちなかコンシェルジュ」等図書館の活動ページの増設、市内の関係団体や企業・お店のPRを行った。 ・メディアとの連携事業として、地域情報サイト(投稿45件)・FMラジオ局(出演24回)・地元の新聞社(掲載15件)と連携して、読書案内や図書館情報の発信をした。 ・市民と情報をつなぐツールとして、行政や関係団体等が市民に周知したい事業や取組について連携展示を行った。(208件)
③ 評価・反省点 (Check)	・コロナ禍で臨時休館となったが、リニューアルによりホームページの訪問者数が増加し、市民が求める必要な情報を効果的に発信することで、市民の暮らしに役立つことができた。 ・連携事業については、連携展示やメディアを活用し市民と情報を結ぶことができた。連携展示は毎年依頼が増加傾向にあるため、他の業務との兼ね合いを見ながら展示数の調整を行う必要がある。
④ 今後の課題・ 取組の方向性 (Action)	・図書館をツールとして活用していただくために、行政や関係機関とより連携を深め、市民の求める情報を提供できるよう、積極的に情報の収集・発信を行いたい。 ・連携展示については、毎年実施しているものは見直しを図り整理するとともに、連携先の協力を得ながらより内容を充実したものへと展開していきたい。

外部評価会議委員からの評価・意見
・これだけ様々な試みを行っている図書館は珍しく、引き続き積極的に行って欲しい。 ・コロナ禍で難しい状況もあると思うが、図書館に行けない人のために外へ出て行う出前・出張活動もこれまで同様進めて欲しい。 ・市民の活字離れを食い止めるために、どういう本を紹介したらもっと本を読んでもらえるかを考えた取組を検討して欲しい。

関係機関・団体との連携事業（滝川市立図書館）

Plan

- 生涯学習・情報拠点として「くらしに役立つ図書館」
→ホームページやSNS、メディアを活用したトレンド情報・読書案内の発信
- 【達成目標】→行政・関係団体と連携した連携展示事業の実施

Do

【実施状況】

■コロナ禍の情報発信【コロナ関連情報コーナー】

- ・おうち時間の有効活用情報
- ・飲食店応援情報
- ・事業者応援給付金情報 など



■ホームページリニューアル【図書館活動ページの増設】

雑誌ささえ隊・まちなかコンシェルジュなど市内関係団体や企業のPRと連携



■まちなかコンシェルジュ【お店編・団体サークル編】

取材し、作成したチラシの展示・ファイリング・情報発信

■メディア連携事業

- ・地域情報サイトコーナー：投稿45件
- ・FMラジオ局コーナー：出演24回
- ・地元新聞社コーナー：記事掲載15件

■雑誌ささえ隊

58誌 支援いただいた企業団体のPR



■連携展示（令和2年度 208件）

行政連携・学校連携・まちなか連携など



Check

【評価・反省点】

- ホームページの訪問者が大幅に増え、くらしに役立つ情報発信ができた。
- 連携展示やメディアの活用により、市民と情報を結ぶことができた。

Action

【今後の課題
取組の方向性】

- ①行政や関係機関との連携強化により、さらに市民の求める情報を発信
- ②連携展示は、見直しを行うことで、数よりも内容の充実を図る。